

海津市まちづくり委員会

第5回

安全・安心まちづくり 検討分科会資料

2011年6月24日

作成 岐阜経済大学 菊本舞

昨年度のふりかえり

- ◎ 海津市及び岐阜県の犯罪発生状況
- ◎ 岐阜県及び県内の「安全・安心まちづくり」への取り組み
- ◎ 防犯ガラス体験
- ◎ 海津市における自主防犯活動及び危険・安全箇所についてのマッピング
- ◎ マップに基づく現場視察

安全・安心なまちをつくるために

～昨年度のふりかえり～

検討事項

- ◎ 日頃のパトロールの経験から、危険箇所の危険理由と今後の対策
- ◎ 住民として、生活者としての地域の安全を確保する仕組み
- ◎ 安全な場所にするための心配り、行動計画
- ◎ 行政、警察、自治組織等との連携

私たちにとって、「安全」「安心」とは、
どのような状態のことを指すのか？

「安全」と「安心」の違い①

「安全」とは

- ◎ 人的損傷や財産損害のおそれが少ないと客観的に判断されること



社会的に受容可能なレベルまでリスクを極小化している状態

- ◎ 安全には絶対安全という評価はなく、発生の頻度と被害の大きさを掛け合わせたリスクによって評価される
- ◎ リスクにも絶対的な基準はなく、社会の情勢に応じて変動する
- ◎ 安全性は、経済性、利便性、行動の自由やプライバシー等とトレードオフ関係にあり、高いレベルの安全を確保するには、それらと並立させる努力が必要

「安全」と「安心」の違い②

「安心」とは

- ◎ 個人の主観的判断に大きく依存し、認知的バイアスがある（一般に犯罪に対する不安は男性より女性の方が高い）
- ◎ 犯罪件数は減少傾向にありながら、体感治安や犯罪不安は回復していない
- ◎ 現代社会の不安は社会的な信頼関係の喪失の現れ
- ◎ 将来の生活に対する高齢者の不安、経済不況による経営や雇用の不安等の社会不安が体感治安に反映しているほか、マスメディアの犯罪報道に対する過剰反応という指摘もある
- ◎ 安心は信頼と大きく関係＝地域において社会的な信頼関係を回復することが課題

「安全」「安心」は何のために？

～昨年度のふりかえり～

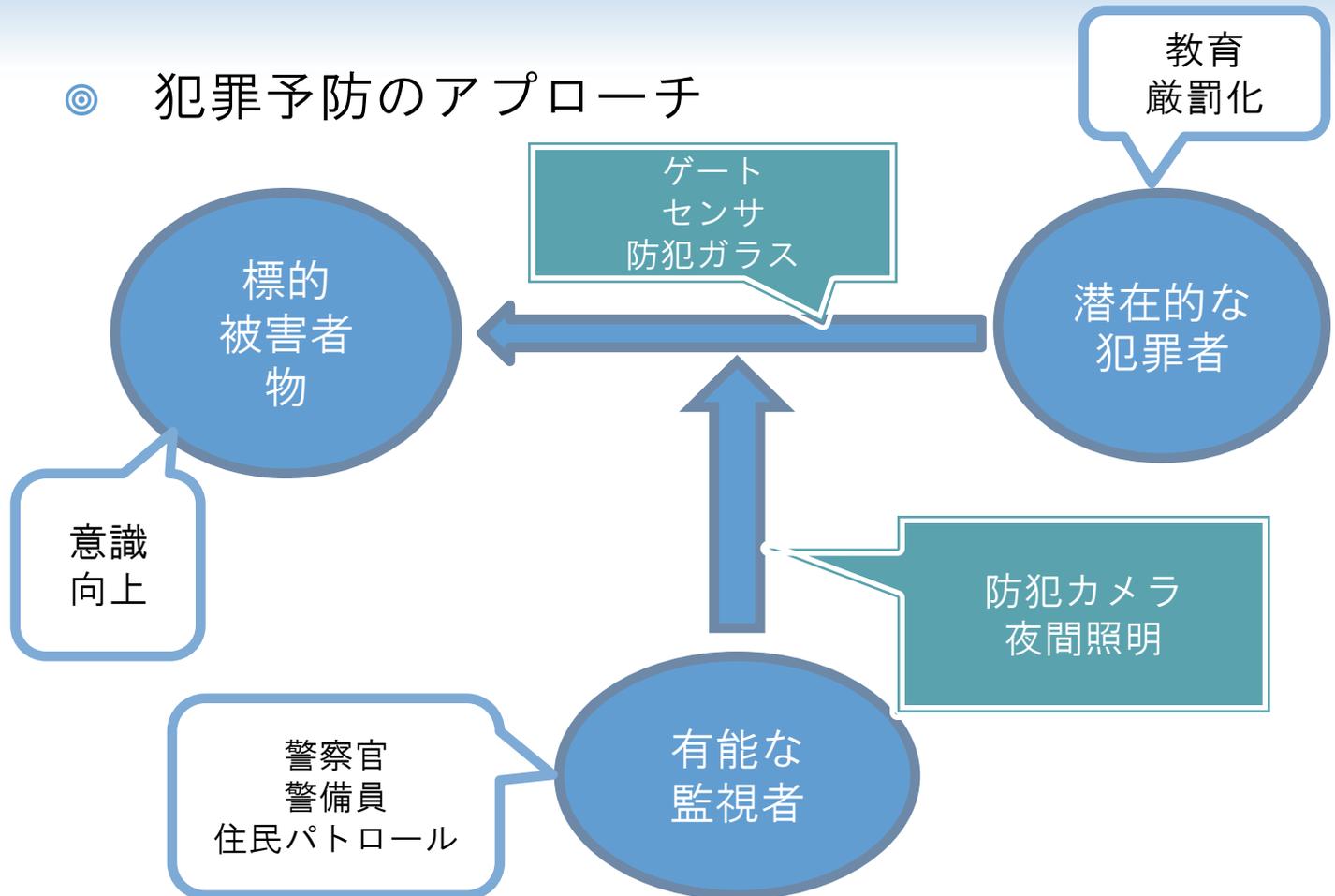
- ◎ 良好な景観をまもる
- ◎ 多くの観光客が訪れる良好な観光交流拠点をまもり、開放性を保つ
- ◎ 六次産業をはじめとする起業や事業おこしを可能とする
- ◎ 若者が地域で継続的に生活していける地域産業づくり

防犯まちづくりの手法

- ◎ 地域コミュニティの活動(ソフト)と空間整備(ハード)を組み合わせる犯罪からまちを守る取り組み
- ◎ ハード：防犯環境設計＝防犯に配慮した空間整備
 - ◎ 居住者自らが住むエリアを自然に監視し、そのエリアに対して縄張り意識を持っていることがわかるように設計すれば、地域コミュニティによるインフォーマルな犯罪統制を促進する
- ◎ ハード＋ソフトの事例：京都町屋などに見られるような格子窓＋自治組織
 - ◎ 街路に常に「多数の目」があり、誰かが常に使用している状態にあることが安全性と自由を維持する
- ◎ 自分たちの間で自発的にコントロールしているが、ほとんど意識されない細かい仕組みによって維持される

犯罪を予防するために

◎ 犯罪予防のアプローチ



信頼関係の構築のために

◎ 事例 1．防犯＋防災

- ◎ 子どもの声掛け・連れ去りを防止するための防犯活動に高齢者に積極的にかかわっていただく
- ◎ 子どもの保護者を含む子どものいる世帯と高齢者のみの世帯等、家族構成が異なっている世帯同士の近隣関係を良好に保つ
- ◎ 災害時の高齢者のみ世帯等社会的弱者への対応や相互扶助が期待できる（逆都市化時代、無縁社会への対応）

◎ 事例 2．防犯＋交通安全

- ◎ 交通事故を避けるために通る交通量の少ない道路等に犯罪への不安箇所が重なるという現実への対応

今年度の分科会の取り組み

- ◎ ①海津市の安全・安心まちづくりを検討する
うえで、現在の取り組み状況について、互い
に情報を共有する
- ◎ ②現状における問題点と課題を明らかにする
- ◎ ③今後、課題解決に向けて取り組むべき内容
について優先順位をつけ、検討する（対象者
及び主体別の具体的な取り組み、あるいは具体
的な提案とそれを動かすセーフティネットの
仕組みや仕掛けの検討）
- ◎ ④提案書をまとめ、提出する

ワークショップ

- ◎ テーマ「地域防犯の現状と課題」
 - 現状
 - 主体、対象、取り組み等
 - 主体間の連携や情報共有等
 - 日頃のパトロール等経験から認識されている危険箇所と対応状況等
 - 課題
 - 住民として、生活者としての地域の安全を確保するうえで、課題となっていること等
 - 現状に照らし解決すべき課題等